

対詠 ごきげんいかが？

K N O
河村 郁子 小野澤 繁
布宮 慈子 繁雄

東窓開けて陽光久しかり大日如来に両手もろてを合はす
一つ屋やに囲われていて立派さは中松地藏中松本町のもの

9月15日 K
9月18日 O

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
布宮 慈子
河村 郁子

野のみどり山のみどりの変はりゆくさまを映して五月はすすむ

5月12日 N

わが庭に若葉茂りて初夏のよそほひ自肅の日日をなごます

5月15日 K

睡蓮に白がくわわって五領沼去年の夏にちかづくごとし

5月20日 O

手裏剣のやうな形のヤマボウシ真白に咲きて五月尽なり

5月29日 N

あぢさゐの白き花びら凜として六月の光のなかに在り

6月3日 K

六月の朝は鳥たちもどりみち同じ鳥とはかぎらぬながら

6月5日 O

桜桃あつたちの季節なれども静かなり他人ひとの手になる叔母の畑は

6月12日 N

スーパ―に「山形さくらんぼ」買ひ求め義兄あにと姪との父の日ディナー

6月20日 K

ならば歩きを半周がほどその間はワクチン接種のことにみにすぐ

6月23日 O

ワクチンは世界を救ふか打つ者と打たざる者は永遠に混じらず

6月28日 N

ワクチンの接種終れど習慣は自肅のままに安心安全

7月3日 K

傘をしてまでして歩く人少なまして年寄り出ている鴉

7月8日 O

傘さして応援してはならぬとふサッカー場に雨合羽あまた

7月15日 N

梅雨明けで晴雨兼用傘出せどショッピングカートに使ふことなし

7月28日 K

沼からでなく沼に下ってきたところ睡蓮の、鯉の沼ひとつの沼に

7月31日 O

最上川の洪水のためあるといふ大久保遊水地は役割果たしき

8月7日 N

梅雨明けのあと感染に観戦とせはしきままにはや秋たちぬ

8月20日 K

くしゃみしているそれは人でなく犬暑さのなかに秋風の吹く

8月25日 O

秋風の急に身に沁みサッカーの日本代表オマーンに敗れつ

9月2日 N

水道の水の温みに秋を知り「猛暑」の言ひ訳もはや効なし

9月3日 K

雨の日も雨のつづきも気疎くてとしよりしことのそれも一つか

9月7日 O

雨の日の次の青空うれしくて秋の光の中を歩きぬ

9月10日 N

東窓開けて陽光久しかり大日如来もろてに両手を合はす

9月15日 K

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

あさつては雪降るらしと伝ふるに庭木ゆるがず乾燥に耐ゆ 1月22日 K

晴れ間でも雨のち晴れはキラキラし洗われ出でてなお冬のそら 1月25日 O

サラサラとまたモサモサと降つてくる雪に見てゐる無常といふこと 1月31日 N

中空に寝待ちの月のくわうくわうと睦月尽にて無事を礼せり 2月1日 K

スーパ―を出てみる空は夕焼けて日々みるそらをこのそらとする 2月4日 O

雪の日も晴れ間みつけてスコップを持ち出してゆく日課のやうに 2月10日 N

東隣の窓よりの反射光 仏間いつばい夕陽が染める 2月17日 K

白梅を先にみた日と後にみた日と花をみて紅白を云う 2月18日 O

瀧山りゅうざんは蔵王のいちばん近い山夕陽当たれば白く輝く 2月25日 N

親族うかららと三回忌法要の境内を紅梅白梅愛でつつ歩む 2月28日 K

一歩ひときして町内の梅そのほかにみた花あれど梅がのこれる 3月3日 O

刻まれてゆく三一一それぞれの記憶を越えて春霞立つ 3月11日 N

紅梅のさいごの一花散りしあと白沈丁花のい群れ咲きゐる 3月14日 K

アパートの庭にもみえて白蓮の重々とみゆ幼木なれば 3月17日 O

城跡の園の紅梅咲き始むここ山形は春の彼岸に 3月22日 N

さ庭にも紅梅のあと沈丁花、海棠咲きつぎ励ましくるる 3月31日 K

新明小あるは御茶山町となり町内まちが神明町なるわからぬ長く 4月4日 O

白鷹町にコブシの並木あるといふ花卉の数の合併なりき 4月11日 N

わが町の名は高野台 江戸時代に谷原やはら在家と呼ばれしところ 4月14日 K

名としては6・4号橋とある跨線橋名というよりは識別子なれ 4月17日 O

三十年ともに「展景」作りきし池田桂一伊達市に逝きぬ 4月22日 N

おだやかなお声が和室にしつくりと心に残るかの日の池田さん 4月22日 K

池田さんの若き日しりぬ教室に隣り合いつつそれも少しづつ 4月27日 O

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
布宮 慈子
河村 郁子

もどりこし子とのくらしはまた家族ただ待つことの時間時間は 10月7日 O

老母に会ひに来られぬ関東の友達のごゑ籥木あかし 10月14日 N

病院の面会自肅に九十路執念解きて携帯愛用 10月18日 K

日常に「新しい」が付くスマートフォンにマスク姿がただ付加されて 10月21日 O

編集の師匠でありし村井氏の偲ぶ会にも行けない今は 追悼・村井弘明さん 10月26日 N

自肅とて友とスマホの掛け放題互かたみに「お喋りリハビリ」として 11月9日 K

挨拶を返さぬ決まりそのように歩きのわれに自転車の人 11月11日 O

「あいさつ」と「挨拶」の文字あひだには読めるが書けぬとふ惑ひのありて 11月19日 N

人形にご挨拶するゼロ歳児動画に向きて「生涯大切」 11月21日 K

歩道橋段差小さを上り下るおさなき頃は歩道橋なく 11月24日 O

歩道には落ち葉多さばにてNDソフトスタジアムと呼ぶるサッカー場に集ひぬ 11月25日 N

散歩みちにボール蹴る子ら見ずなりて和製マラドーナ出づる由よもがな 12月6日 K

長い坂下りつつある秋の日は大人になりし子を思いつつ 12月8日 O

きのふより舞台が転換したやうに世界はいきなり白に変はつた 12月15日 N

白銀の世界に心躍りしは二十代 今、転倒禁忌 12月19日 K

この角でポンプの音をきいていしその養魚場一つ昔か 12月22日 O

釣堀の武蔵境にありしこと今思ひ出づ釣りしことなし 12月27日 N

2021年

池の辺へに釣り竿の先見つめぬし翁の横顔今は幻相 1月8日 K

一日分の会話というをしておりぬ池をきれいにしている人と 1月12日 O

雪被る蔵王を眺むる夕べかな大寒の一日ひとひはや過ぎむとす 1月20日 N

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

やうやくに集団登校する子らの声はづみたりマスクをつけて
 6月10日 N

「気をつけてね」授業は時差の女の子一人で登校一人で帰る
 6月19日 K

クリニックはドアが開いててすぎんとし咳する声がみちにひびくも
 6月29日 O

Jリーグ無観客にて再開すピッチに響く選手らの声
 7月5日 N

コロナ場所砂被りには熱気なく力士が回しをたたく音響く
 7月6日 K

公園につどうことにも慣れたよう若い人その声をたのしむ
 7月9日 O

姉御肌だつたあなたはもう居ないその情熱をわれは忘れず
追悼・和田みさ子さん
 7月13日 N

これよりは「岡井隆全歌集」を尊師と仰ぎ詠みつきゆかな
 7月16日 K

緊張を車内にもちて県またぎ君のところまで蚊に食われおり
 7月21日 O

マスクしてゐない人はあなただけ遺影にふかく頭を垂れて
追悼・和田みさ子さん(2)
 7月26日 N

蟄居にて日本三百名山つぎつぎ登攀す 4Kテレビ
 7月31日 K

百穴をひやつけつと云う人もいて百にとどかぬ穴の入口
 8月3日 O

百歳に四つと迫る勢ひをもちて果敢に先生は生きた
7・30 外山滋比古先生、逝く
 8月10日 N

的確にご指導いただき25階ドリンクバーは外山先生
 8月18日 K

祖父たちの「戦友会」に入会し戦争をしりたきしりぬ 若きら
 8月22日 O

若きらはオンライン授業に慣れゆくか親戚の子はキャンパスに行かず
 8月29日 N

オンライン授業受けたし古い人のかそけき望み そは知識欲
 9月1日 K

桂の木木下になれば滴して昨夜の雨を忘れおりしか
 9月6日 O

アランフェス協奏曲をハーブにて聴きたる夜の道の霧雨
 9月12日 N

師と訪ひし聖トーマス教会を思ひつつ聴く「マタイ受難曲」
 9月20日 K

「これでまた一週間は生きられる」ミサとミサの間その一週間は
 9月24日 O

ほつこりと秋が来てゐる栗ごはん食めば広がる栗の甘さよ
 10月1日 N

栗ごはん松茸ごはん持てなざる姪の調理は車椅子にて
 10月4日 K

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

わが庭の紅梅いちりん咲き初むる立春の朝と決めぬるらしも 2月8日 K

蠟梅が終りつつあるを前置きに庭の女性ひととも話す梅の花 2月11日 O

雪国に雪のなければよろこびは少なしと思ふ春が来たとして 2月16日 N

白雪に色映すなく散り初むる紅梅見つむ詫びるがごとく 2月22日 K

カレーパンにバーモントカレーもあるまちのパン屋さんにしお八つ買いおり 2月26日 O

ともかくも鯖のカレーを食べむとす感染者の数ふえつつあるも 3月4日 N

緑茶にはカテキンがありカレーにはターメリックありと抗ウイルス検索 3月14日 K

急須で淹れたお茶を飲むのは朝だけとこれは兄さんわが家も同じ 3月15日 O

Twitterにチャイコンとありチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲ぞ 3月19日 N

百歳の媪言ひけり「戒厳令」今年の花見はスーパー道中 3月23日 K

確かめんとしてそのひとつ育心会の桜もみおり近所の桜 3月25日 O

桜咲く季節なれども出できたる晒し木綿にマスク縫ひをり 3月31日 N

いざなはれ訪とひたる桜の名所にはドローンが巡る映像花見 4月4日 K

一部開館窓口のみの図書館に児童書ならぬ「レ・ミゼラブル」求む 4月6日 O

今にして売れてゐるとふアルベール・カミュの「ペスト」さくら満開 4月14日 N

通学の都電に揺られ読みたる『ペスト』その不条理が身に迫りくる 4月17日 K

この休み川にきている人多く三密さけて密は黄の花 4月20日 O

ゴールデンウィークといへど食卓に甘夏みかん光るのみにて 4月29日 N

自粛なら終活読書庭仕事と目論見たれど鉄線咲くのみ 5月2日 K

風吹いてからだのなが風になる大鯉ゆたか五月のそらに 5月10日 O

新緑の葉はてらと光れども五月の空に鯉のぼりぬず 5月17日 N

早朝の光を受ける若楓 巢籠もるわれを励ますらしも 5月30日 K

門入りてすぐもどりくる中学生ら校舎外にて何か受取り 6月1日 O

対詠 ごきげんいかが？

K N O
河村 郁子 小野澤繁雄
布宮 慈子

焼け落ちし城跡みればそう昔でなくテンペスト読みしに及ぶ

11月12日 O

燃えるとは今日の試合の逆転劇 山岸選手のハットトリック

11月16日 N

今日こそは令和の凧吹く予報 待てど小雨も風も治まる

11月28日 K

雨上がり傘が干されてあるところ傘ばかりなる香港は雨

12月1日 O

山形は寂しくなりぬ旅立ちの河内愛子へうたふ讚美歌

12月3日 N

墓洗ふ 師走はじめの小春日に新入り姉との話つもりて

12月6日 K

出てもどる団地構内そのみちに枝伐る音の朝よりきこゆ

12月10日 O

真水なる中村哲さん帰きぬ言葉の壊れてしまつた国へ

12月16日 N

庭師なす剪定終えし庭すがし核も麻薬もかくにありたし

12月22日 K

イブの日のあしたの庭に赤い帽高さ揃つて低学年の生徒ら

12月24日 O

標かんじきを売る店ありて上町の羽州街道に南天ひかる

12月30日 N

大晦日おほごもりの21時小学生が受験合宿より帰宅せり

12月31日 K

2020年

新年はあい直しする園に出てしり合いにまたメグちゃんにもや

1月4日 O

志津ちゃんの葬儀に出れば久々の同級生とともに拝みぬ

1月10日 N

元旦のポストに入る年賀状ほのかに嬉し 喪中なれども

1月12日 K

境遇はいろいろなれど同じ家やに内飼いの犬外飼いの犬

1月21日 O

光りゐる二つのまなこが走り来る左さの前足を着かぬ猫にて

1月25日 N

シリウスゆ冬の三角形たどり大いぬ子いぬ座ラッキイ亡いき犬いづこ

1月27日 K

マルちゃんでなくメグちゃんでもなくハルちゃん犬の識別は飼主による

1月30日 O

春なのかまだ冬なのか夕空を西へと向かふ五羽の白鳥

2月5日 N

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

企画展「表現の不自由展・その後」、あいちトリエンナーレに閉づわづか三日で	8月3日	N
新憲法最初の視点は第二十一条「自由と規律」十代を占む	8月7日	K
まあ、こりゃ、暑いやと声ひとくさり日ざかりのみち人は少なく	8月9日	O
三時間以上も映画館にゐて「ニューヨーク公共図書館」見終はる	8月17日	N
秋立つと思へばかすか早朝の風に安らぐ 巨峰は常温	8月23日	K
柿の実もイチジクも色づかんころ庭はつづいて旧村のみち	8月26日	O
川中島、あかつき、まどか、西王母、おどろき、桃の品種に驚く	8月29日	N
青柿の色づき初めし葉のあはひ夏の終はりの悔恨ひとつ	9月3日	K
その庭に遊具置かれて新築はかわいい家の黄の色づかい	9月7日	O
『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ、パンクな母ちゃん	9月12日	N
黙々と集団登校するなかにやさしき眸合はす子ひとり	9月15日	K
兄妹で馬穴をのぞいているところオレンジの家庭 <small>いえ</small> に屈んで	9月19日	O
プレミアム商品券のお知らせが母に届きてみかん色の空	9月25日	N
消費税10%に上がるとて華やぐらしも九月の銀座	9月30日	K
あいたいとあってうれしいと叔母さんに時間煮詰まりとりとめもなし	10月4日	O
煮詰まつてさらに旨味が増えてゆくカリフラワーと茸 <small>きのこ</small> のスープ	10月9日	N
わが庭に実りしブルーベリー酸く砂糖と煮詰めて極上のジャム	10月12日	K
足早の人なりしかど橋の上に出水の跡を写真におさむ	10月16日	O
雨上がり夜の散歩に出でたれば駅前ビルは霧に包まる	10月19日	N
颱風も置きみやげとて未曾有なり災害国土と自覚なさねば	10月24日	K
橋脚の汚れいくすじ出水跡いつのものなれ今日は秋晴れ	10月27日	O
秋出水 <small>あきでみづ</small> 憂へしときに首里城が炎とともに崩れ落ちたり	11月3日	N
天災も人災とても忘るなく見舞ひ来るなり 人智頼まむ	11月8日	K

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
布宮 慈子
河村 郁子

百歳おうなの媪は俳句をまとめ初む入居より四年の秀作あまた
5月5日 K

こどもの日も歩いて店にだんご買う遠き子ならぬ近き亡き子に
5月7日 O

てくてくとホールを目指しブラームス聴きに行く日の夕焼けの色
5月11日 N

亡き姉に白いカーネーション探し歩む街中花屋は赤にはなやぐ
5月12日 K

草の種も変ってすでに春の花挟まれ歩む土手のみちなり
5月14日 O

ツツジ咲く五月の空は晴れてみてどこどこまでも行ける気がする
5月20日 N

山ぼふしの花散りはててはやばやと果実の形萌黄もよぎに揃ふ
5月24日 K

底なしの沼をつくらんと声二人ペットボトルに水を持ち込む
5月26日 O

あらかたは田植糸終はりて月山を望む景色に水田みづたが光る
5月31日 N

玉苗のあはひに赤城の山なみを映す西伊豆車窓のたまゆら
6月5日 K

一周のうちにも風のあるところ帽子の人はかぶり直しす
6月8日 O

バラの咲く通りは夜の散歩道ふくらみかけたやさしい月よ
6月12日 N

梅雨あらしの予報のまえの静けさに狭庭のみどりが小雨にゆれる
6月15日 K

玄関先に茄子を育てている家か肩の高さにみる花のいろ
6月17日 O

茄子胡瓜植うる畑の中ごろに薄紫のジャガイモの花
6月22日 N

散策のみちの区民農園には収穫祝ふパーティー盛る
7月8日 K

ご神体は多く自然物野辺山に鉄道神社は車輪に祈る
7月10日 O

満月に近づく月よ 今ここに在ることいづれここを去ること
7月15日 N

外国とくこくゆ来宮神社訪ね来て御朱印あがなひ「ゴリヤク」と笑む
7月16日 K

緊張はホルムズ海峡に船舶の数みせて下海水浴したの人ら
7月21日 O

夏休みを静かに待てり子どもらの声のまだせぬ町のプールは
7月26日 N

平泳フレストぎが得意なりしもストロークに筋力老化まざまざと知る
7月28日 K

夏休みに入りて間ないか鎌倉は山のみちゆく少年ら早や
7月30日 O

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
布宮 慈子
河村 郁子

立春にさ庭の紅梅五りん咲き蓄あまたにはち切れむばかり 2月7日 K

大台に仕分けられゆく荷の幾つ荷の多き世にわれら住むかな 2月8日 O

引つ越して七年たてばこまごまと物は増えゆく断捨離せねば 2月13日 N

終活と身辺雑物手に取れど見つむるのみに断捨離能わず 2月15日 K

若者ら飯山駅でみな降りて棚の荷もみな消えてしまいぬ 2月17日 O

山形の赤根はうれん草うましガシガシ削りたる鯉節 2月22日 N

根の赤い鳳蓮草を懐かしみ野菜工場産のサラダ食む 2月28日 K

ゴーヤチャンプルーをなつかしい味という二人ある方がいい懐かしい味 3月1日 O

懐かしき郵便局に置かれたるハズキルーペを掛けて外して 3月6日 N

姉上の遺品みつめて懐かしみ八十余年の歳月甦す 3月7日 K

遠くから園に歩きにくる人は動作おおきく歩く人なり 3月9日 O

うつすらと雪の降りたる日の午後に歩く人見ゆ市民農園 3月14日 N

多すぎる枝のそのなか一輪を探さがして二、三輪みる 3月27日 O

夏越しをさせたシクラメン三月になりて咲きたり紅色の花 3月29日 N

クリスマスに姉の見舞にと頂きしシクラメン咲き継ぎ水遣りすなり 3月31日 K

働いて生きいる難を幾たびか子にみしことも辛夷花みる 4月2日 O

風つよき日の空白く黄砂とPM2.5飛んでゐるといふ 4月5日 N

慶州より来日したるご夫妻が「空気がきれい」と新宿街中 4月9日 K

あいまいになる終り方とみるまでに飛行機雲は夕そらはかな 4月11日 O

風のなき空に誘はれ花を見つ三分咲きなり霞城公園 4月16日 N

わが庭に海老根蘭の咲きさかる五十年來根を張り継ぎて 4月23日 K

いつの間にブルーバードシルフィも消えていてその家のことも長くみしなり 4月26日 O

閑上の津波の跡を見にゆけば復興道路にまだ信号はなし 4月30日 N

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄
布宮 慈子
河村 郁子

小園は近道になっていらくベンチ後ろをすれ違う人

11月30日 O

東京の電車の人はイヤホンとスマホをまとふ鎧のやうに

12月3日 N

この年のわれの十大ニュース選る大つごもりに一つ残して

12月5日 K

赤銅になりきらぬ葉もまだ残るヒイラギナンテン四号棟冬

12月9日 O

まつさらな雪の原なり「サルド」とふ古里ことば懐かしきかな

12月15日 N

やうやつと黄葉なしたる公孫樹散り敷く域に妖怪気分

12月18日 K

なでしこのひらがなやさし点々とまだ青草を揺らし冬風

12月19日 O

山形に花の色なし雪の日を南天の実のあざやかにあり

12月27日 N

東京の年末寒波のからつ風に大根葉さやぐ区民農園

12月30日 K

十二番までの家庭菜園青物の残る幾番あとの片づき

12月31日 O

2019年

七草粥ならねど芹のお粥さん食べたうちは一日早く

1月6日 N

低血糖に倒れし姉に付き添ふる救急車より降りる 山茶花を見つ

1月10日 K

山茶花と椿の違いしりしより紅の花みるにそのこと

1月14日 O

夏のころ枯れたやうなる山野草レウイシアの花カラフルに咲く

1月19日 N

庭ぬちの紅梅の蕾に色さして春の隣りが確かなりぬる

1月24日 K

梅が枝にたったのひとつ花みしは花かとそれを危ぶみもする

1月26日 O

大寒に雨など降つてよいものか六十四の誕生日来つ

1月28日 N

気にかかる去年よりつづく冬早きさらぎやよひに大雪あらむ

1月30日 K

鷺にしもいつもの場所はあるものか川の真中に立ちいるひとつ

2月1日 O

立春といへど羽州の山形の明るき春の光におどろく

2月4日 N